

部 局	市立豊中病院事務局	補 職	市立豊中病院事務局長	氏 名	大東 幹彦
-----	-----------	-----	------------	-----	-------

1. 部局の使命

救急医療やがんなど高度医療の提供など、公立病院としての役割を果たしながら地域の医療機関との連携を一層強化し、地域の急性期医療を担う中核病院として高度で良質な医療を提供する。
また、医療の質を確保・向上するためにも、公営企業として経営の効率性を追求し、安定した運営を継続する。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針取り組みの総括

方針	取り組みの総括
<p>○がん診療や救急医療など地域の中核病院として、地域との機能連携、役割分担を果たしながら必要な地域医療を確保しつつ、感染症指定医療機関としての責務として、新型コロナウイルス感染症の感染状況(フェーズ)に応じ、医療提供体制の確保に取り組みます。</p> <p>○組織の使命を遂行するため、『市立豊中病院運営計画』(取組期間：平成30年度(2018年度)～令和4年度(2022年度))に基づき、下記の視点で病院運営に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機能と質の向上 急性期医療や高度専門医療を提供していくため、「医療機能と質の向上」に取り組みます。また、自然災害や感染症の発生等に迅速かつ適切に対応できるよう危機管理体制の強化に取り組みます。 ・地域医療連携の推進 地域医療体制の充実と地域包括ケアシステムを構築していくため、地域の医療機関や介護との連携など「地域医療連携の推進」を図ります。 ・患者サービスの向上、働き方の改善 患者さんに満足いただけるよう、患者サービスの向上を図るほか、医療スタッフをはじめとする職員が健康で意欲的に働ける環境づくりを通じ、満足度の高い医療サービスの提供が行えるよう、「患者サービスの向上、職員の働き方の改善」に取り組みます。 ・業務の効率化と経営基盤の確立 良質な医療を安定的に提供するため、情報化の推進や適正な収益の確保及び費用管理などにより、「業務の効率化と経営基盤の確立」を図ります。 	<p>○感染症においては「中等症・重症一体型病院」として最大で60床の受入体制を確保し、中等症患者に加え、重症者や小児、妊産婦、透析が必要な方の受入を行ってきました。</p> <p>○『市立豊中病院運営計画』に基づき、下記の視点で病院運営に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機能と質の向上 がんゲノム医療連携病院の指定を受け、がん遺伝子パネル検査の実施など、がん診療の充実を図りました。また、消化器疾患に関して、内科・外科の連携による診療科の垣根を超えた幅広く消化器症状を診察するため、「消化器センター」開設に向けた準備を進めました。(令和4年(2022年)4月開設) ・地域医療連携の推進 当院の診療情報を共有できる「市立豊中病院ネット」の普及促進に努め、参加医療機関の増加に繋げました。また、教育委員会と連携し、市立小・中学校において医療的ケアを必要とする児童・生徒が安全・安心して学校生活を送れるよう、看護師の派遣を行いました。 ・患者サービスの向上、働き方の改善 感染防止の観点から、オンライン面会の実施とともに、スマートフォンによるオンライン通話が可能となるようWi-Fi環境の整備を行いました。また、医師の仕事の一部を看護師など他の職種に任せるタスクシフトなど、医師の働き方改革に向けた検討を行いました。 ・業務の効率化と経営基盤の確立 病床確保など感染対策にかかる国・府補助金の確保に取り組みました。また、体温や血圧などバイタルの測定値を電子カルテに自動入力できるシステムを導入し、病棟看護業務の安全性・効率化を図りました。

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>新型コロナウイルス感染症対策</p> <p>○がん診療や救急医療など、必要な地域医療を確保しつつ、新型コロナウイルス感染症の感染状況(フェーズ1~4)に応じた患者の受入に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 一般病床を活用した入院患者の受入れ * 患者特性(妊産婦、透析患者など)に応じた受入れ * 職員の安全衛生の確保(相談体制の充実、事業場安全衛生委員会との連携) * オンライン面会の継続実施 	<p>感染症対策として「診療体制の確保」「感染拡大防止に向けた療養環境の整備」「感染症業務に取り組む職員の支援」に取り組みました。</p> <p>○診療体制の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「中等症・重症一体型病院」として、集中治療室及び一般病棟を活用した受入病床の確保 * 一般診療での発熱患者への対応(発熱外来設置) * 抗体カクテル療法バックアップ <p>病院として患者受入体制の確保</p> <p>○感染拡大防止に向けた療養環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「COVID-19感染対策マニュアル」の随時更新と徹底 * 外来窓口・待合エリア等での感染対策の実施 * 電話診療及びオンライン面会の実施 * 感染管理認定看護師による感染症対策のための介護施設等の巡回訪問 <p>○感染症業務に取り組む職員の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> * メンタルヘルスの実施(アンケート・産業医による相談窓口での対応) * 特殊勤務手当の支給 * 院内従事者へのワクチン接種 <p>これらの取組みを通じて新型コロナウイルス感染症にかかる地域の医療体制の整備に貢献することができました。</p>	<p>いまだ終息が見えない中、引き続き感染症対策の取組みを継続するとともに、一般診療との両立を図るべくWithコロナ期における病院運営について検討します。</p> <p>また、国の公立病院経営強化ガイドライン(令和4年(2022年)3月策定予定)において、新興感染症※の感染拡大時等に備えた平時からの対応が示されており、Afterコロナの病院運営のあり方について次期病院運営計画の策定の中で検討を進めます。</p> <p>※新興感染症とは、かつて知られていなかった、新しく認識された感染症で、局地的あるいは国際的に、公衆衛生上問題となる感染症。</p>
	総合計画		
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。		
	基本政策		
	0		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>医療的ケア児支援事業の安定的かつ継続的な運営</p> <p>○市立小・中学校において、日常的に医療的ケアを必要とする児童・生徒が安全・安心して学校生活を送れるよう、継続的に看護師を派遣します。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 当院医療者と学校看護師間での報告・相談体制を構築します。(4月～) * 関係部局と定期的に協議・情報共有する場を設定します。(7月～) * 学校看護師の役割のPR等を通じ、人材確保を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> * 毎週水曜日に合同カンファレンスを実施。タイムリーに課題を抽出し、問題解決に向けて取組みを行いました。 * 令和4年(2022年)1月には学校看護師の拠点を豊中病院に移転し、より密接な情報共有や相談体制の構築を図りました。 * 学校看護師の教育体制として、自己研鑽ツール(ナーシングスキル)の提供や、病院看護師としての基本姿勢、感染対策、医療安全等に関する講義を実施しました。 * 三季休業中には、周産期領域の研修等を行い、スキルアップを図りました。 * 当院ホームページ内に学校看護師募集サイトを立ち上げるとともに、広報を活用し、募集活動を行ったことで、5名の採用につながりました。 * 「病院だより」に学校看護師に関する特集を組み、院内外へのPRを行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> * 学校看護師の募集について、広報を継続し、募集につなげていきます。 * 学校看護師に対し、研修の機会やその手法を提供します。またその研修の成果の確認を随時行い、学校看護師のスキルやモチベーションの向上につなげるとともに、定着を図ります。 * 関係部局との会議やカンファレンス等を通じて、課題の抽出や問題解決に向けた取組みを検討します。
	<p>総合計画</p> <p>2-2-③ 地域医療の充実を図ります。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>31 地域包括ケアシステム・豊中モデルの総合推進</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>がんゲノム医療の実施</p> <p>○がんゲノム医療の実施に向けた体制の整備を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 外部機関（大阪大学医学部附属病院、がんゲノム情報管理センター（C-CAT）との連携調整 * 院内各部門・診療科の連携体制の確保（4月～） * 職員に向けた教育・啓発の実施（4月～） * がん遺伝子パネル検査の実施（7月～） * 地域医療機関への周知・啓発（10月～） 	<p>* がんゲノム医療連携病院の指定を受けました（令和3年(2021年)4月1日）。</p> <p>* 以降、ゲノム医療の実施に向け以下の取組みを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんゲノム情報管理センター（C-CAT）との情報連携システムの接続 ・パネル検査機関との委託契約の締結 ・院内実施フローの検討及び各診療科等との調整 ・院内医療従事者向けにがん遺伝子パネル検査にかかる研修の実施 ・がんゲノム医療コーディネーター研修を受講し10名のコーディネーターを養成 <p>* 以上により、令和3年(2021年)9月以降、連携する大阪大学附属病院で開催される専門家会議に参加するとともに、がん遺伝子パネル検査を実施しました。</p> <p>* 令和4年(2022年)3月末時点での実績</p> <p>相談件数35件 うちパネル検査実施件数19件 治療に結び付いた件数2件</p>	<p>* 現状は、当院のがん患者を中心にがん遺伝子パネル検査を実施しています。</p> <p>* 今後は、近隣医療機関から紹介を受けて、他院受診中の患者についても検査対象としていきます。</p> <p>* そのため、以下の体制整備等を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣医療機関への周知方法の検討と実施、受け入れ時の各診療科の対応等体制の整備及びフローの確立 ・院内医療従事者向けに、がん遺伝子パネル検査などについての継続的な教育啓発の実施 ・安定的にがんゲノム医療を実施するため、臨床遺伝カウンセラー、遺伝性腫瘍に関する専門医の確保
	<p>総合計画</p> <p>2-2-③ 地域医療の充実を図ります。</p>		
	<p>基本政策</p> <p>0</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	「(仮称)市立豊中病院運営計画新プラン」の策定	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で病院運営審議会への諮問が10月となり、当初の予定より遅れが生じましたが、以下の取組みを行なってきました。</p> <p>(1)病院運営審議会の実施(10月・3月)</p> <p>①現行計画の進捗・実績(R2年度(2020年度))報告</p> <p>②新プラン策定作業の報告</p> <p>(2)新プランの策定</p> <p>①病院運営計画推進委員会の実施(9月・12月・1月・2月)</p> <p>②環境調査・診療実績の分析調査(継続中)</p> <p>③院内ヒアリング調査の実施(1月～3月)</p>	<p>総務省「公立病院経営強化ガイドライン」及び医療圏域における地域医療構想を踏まえ、令和5年度(2023年度)から5年間における病院運営に関する考え方・方向性を明らかにします。</p>
	<p>○国の地域医療構想や新型コロナウイルス感染症により影響を受ける医療政策・医療環境の変化を踏まえ、現行の「市立豊中病院運営計画」及び「市立豊中病院運営計画実施計画(計画期間：平成30年度(2018年度)～令和4年度(2022年度))を見直し、新たな計画を策定し、適切なマネジメントサイクルによる進捗管理と経営改善をめざします。</p> <p>*院内での検討(4月～)</p> <p>*病院運営審議会(5月諮問、11月答申)</p> <p>*パブリックコメントの実施(12月)</p> <p>*計画の策定(2月)</p>		
総合計画			
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。		
基本政策			
	0		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>医療機能と質の向上</p> <p>地域医療構想に基づく地域での病床機能の再編が課題となっています。救急医療体制の確保とともに、がん・脳卒中・急性心筋梗塞・周産期医療等への診療機能を高め、急性期拠点病院として地域での役割を果たしながら、超高齢社会を見据えた地域医療体制の構築に貢献します。</p> <p>感染症の発生等突然の有事に迅速かつ適切に対応できるよう危機管理体制の強化に取り組みます。</p>	<p>* 地域医療構想への対応 令和3年度(2021年度) 新病院運営計画の策定</p> <p>* がん医療の充実 令和4年度(2022年度) がん診療連携拠点病院の指定更新</p> <p>継続して実施</p> <p>* 救急医療の充実</p> <p>* 医療の質改善活動の継続</p> <p>* 感染症指定医療機関としての機能強化</p>
総合計画		
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。	
基本政策		
0		
2	<p>地域医療連携の推進</p> <p>新規入院につながる紹介患者の受診が課題となっています。診療情報の連携の迅速化や申込から受診・入院までの期間の短縮化を図るなど、かかりつけ医等との連携の向上に取り組み、地域との連携体制を強化・充実します。</p>	<p>継続して実施</p> <p>* 紹介率・逆紹介率の向上</p> <p>* 医療機関訪問の強化、「市立豊中病院ネット」普及拡大</p> <p>* 「地域医療支援病院」承認要件の維持</p>
総合計画		
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。	
基本政策		
31	地域包括ケアシステム・豊中モデルの総合推進	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
3	<p>患者サービスの向上、職員の働き方の改善</p> <p>医師・看護師など医療スタッフの働き方改革が課題となっています。医療スタッフの業務負担軽減に取り組むとともに、働き方改革の取組みを進め、当院で働きたいと思える勤務環境の整備を進めます。</p>	<p>継続して実施</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「患者満足度調査」 「患者の声」 等に基づく改善活動の推進 * 働き方改革の推進 * 業務負担軽減の推進
	総合計画	
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。	
	基本政策	
0		
4	<p>業務の効率化と経営基盤の確立</p> <p>経営状況の改善が課題となっています。診療報酬改定の動向を踏まえた収益の確保と適切なコスト管理に基づく費用の削減への取組みを進め、安定した経営基盤の確立をめざします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 診療報酬改定への対応（令和4年度(2022年度)、令和6年度(2024年度)） * 情報システムの安定稼働 令和3年度(2021年度) 第3次医療情報化計画策定 <p>継続して実施</p> <ul style="list-style-type: none"> * 費用の適正化 * 施設設備修繕計画の推進
	総合計画	
	2-2-③ 地域医療の充実を図ります。	
	基本政策	
0		